

平成 7 年（1995年）兵庫県南部地震について

震 分 布

本震の北東－南西方向に、線状に余震の震源が分布している。今回の地震はほぼ東西方向の圧縮力で発生した横ずれ断層型の地震で、断層面はほぼ垂直に立っており、余震の震央分布がそのまま地震断層の走った方向（走向と呼ぶ）をあらわしていると考えてよい。図で余震の密集している部分の長さは約50kmで、そのほぼ中央に本震が位置している。

地 震 波 形

変位波形は地面が何cm動いたかを記録した図であり、南北方向・東西方向にそれぞれ最大18cm、上下方向に最大10cm動いたことを示す。

加速度波形は地面の揺れの加速度を記録した図であり、南北方向で最大818gal、東西方向で最大617gal、上下方向で最大332galであることを示す。

（gal=cm/毎秒毎秒；加速度の単位）